



◎登録5地域の四国いやしのみちづくり活動年譜

	全体	吉野川市	神山市	上板町	勝浦町	上勝町
2000年 (平成12年)	6月 第1回検討会議 7月 四国いやしのみちづくり シンポジウム・第2回 検討会議 8月 第3回検討会議: スキーム決定	8月 推進会議が始まる				
2001年 (平成13年)		6月 第1号登録 ブロック別検討会議が 始まる 12月 事業計画決定	10月 推進会議が始まる			
2002年 (平成14年)		1月 江川湧水源にトイレと 遊歩道整備に着手	3月 第2号登録 7月 ブロック別検討会議が 始まる			
2003年 (平成15年)		●上記トイレと 遊歩道整備が完了 ●JR鴨島駅前に案内板が設置	3月 事業計画決定 ●山道修復、阿野地区のトイレ・休憩所の設置 ●ボランティアによる休憩所の 設置などが始まる	1月 推進会議が始まる 7月 第3号登録 9月 ブロック別検討会議が 始まる		
2004年 (平成16年)				3月 事業計画決定 ●いやしのみちづくり実行委 員会発足により、各部会の活 発な活動が始まる	2月 推進会議が始まる 3月 第4号登録 6月 ブロック別検討会議が 始まる	
2005年 (平成17年)				3月 事業計画決定 ●活動が始まる	8月 説明会開催	
2006年 (平成18年)					5月 推進会議が始まる 9月 第5号登録 10月 ブロック別検討会議が 始まる	
2007年 (平成19年)					3月 事業計画決定 ●活動が始まる	
2008年 (平成20年)						

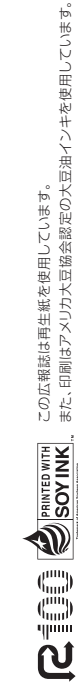


いやしのみちづくり
Road of IYASHI



徳島県観光戦略局にぎわいづくり課
770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
Tel:088-621-2148 Fax:088-621-2837

編集：特定非営利活動法人コモンズ





四国いやしのみちづくり事業とは

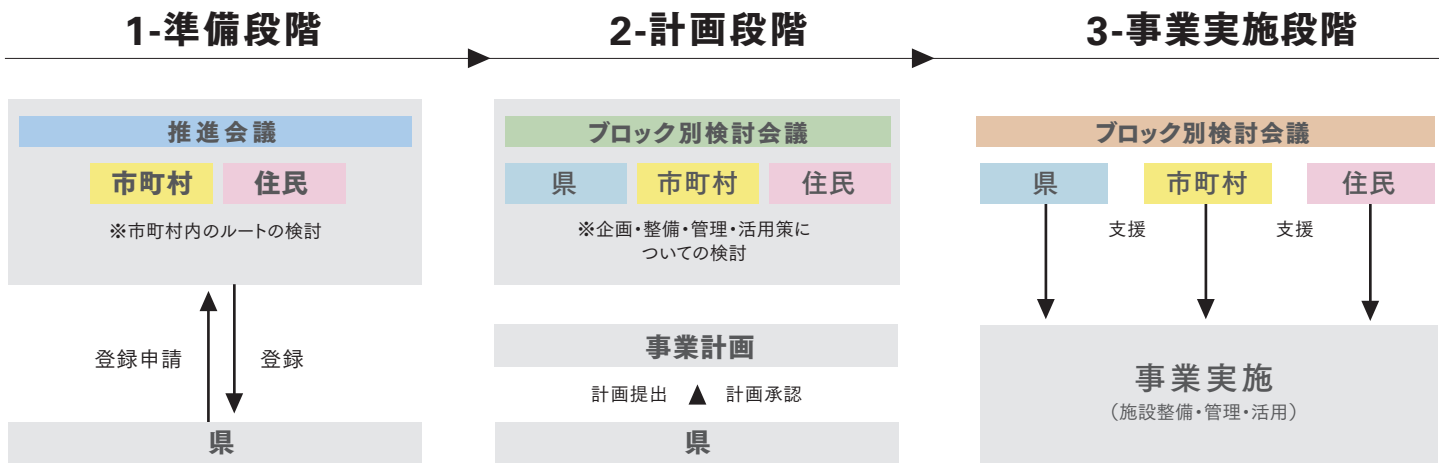
へんろみちや四国のみちを基本とし、周辺の歴史文化資源をつないだ歩く道づくりを県民と行政が協働で行い、地域の歴史・文化、自然等の再認識と、情報発信により、交流促進及び地域の活性化を推進することを目的としています。そして、四国いやしのみちには、5つの条件があります。

四国いやしのみち5つの条件

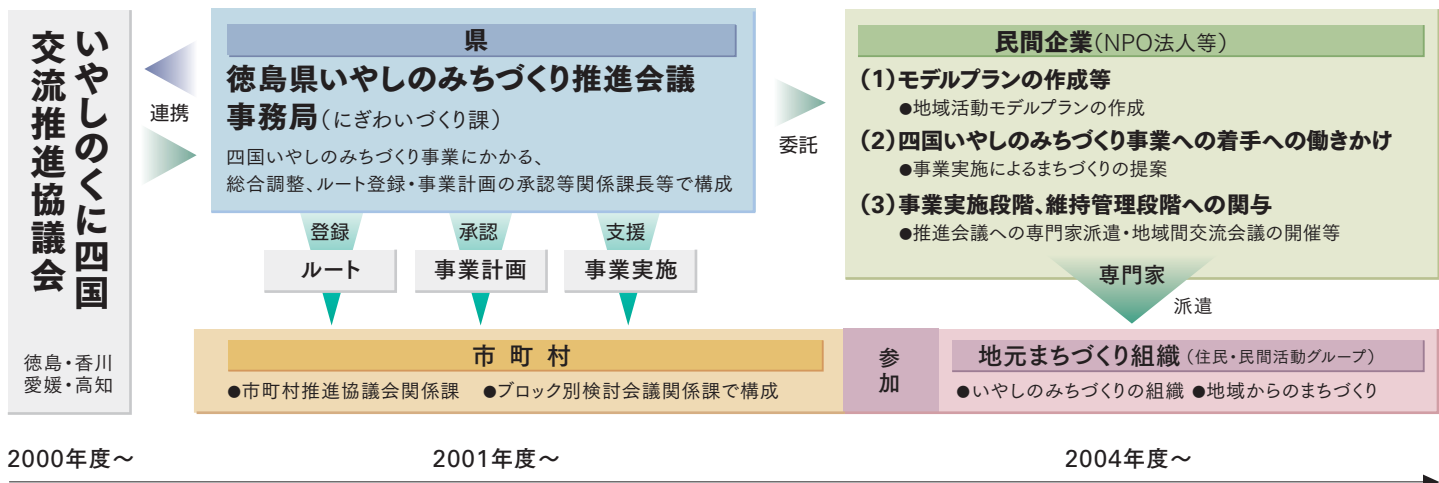
- ① 県民と行政が協働で進めるみちづくりであること
- ② 訪れる人と地域住民が相互に価値を持つみちであること
- ③ 持続性のあるみちであること
- ④ 各ブロック(区間)に「テーマ」や「もてなし」を持つこと
- ⑤ 連続性があり、四国全体への発展性を持つこと

◎四国いやしのみちづくり事業の流れ

四国いやしのみちづくり事業は、①準備段階から②計画段階、③事業実施段階まで、地域住民と行政の協働により実施されています。



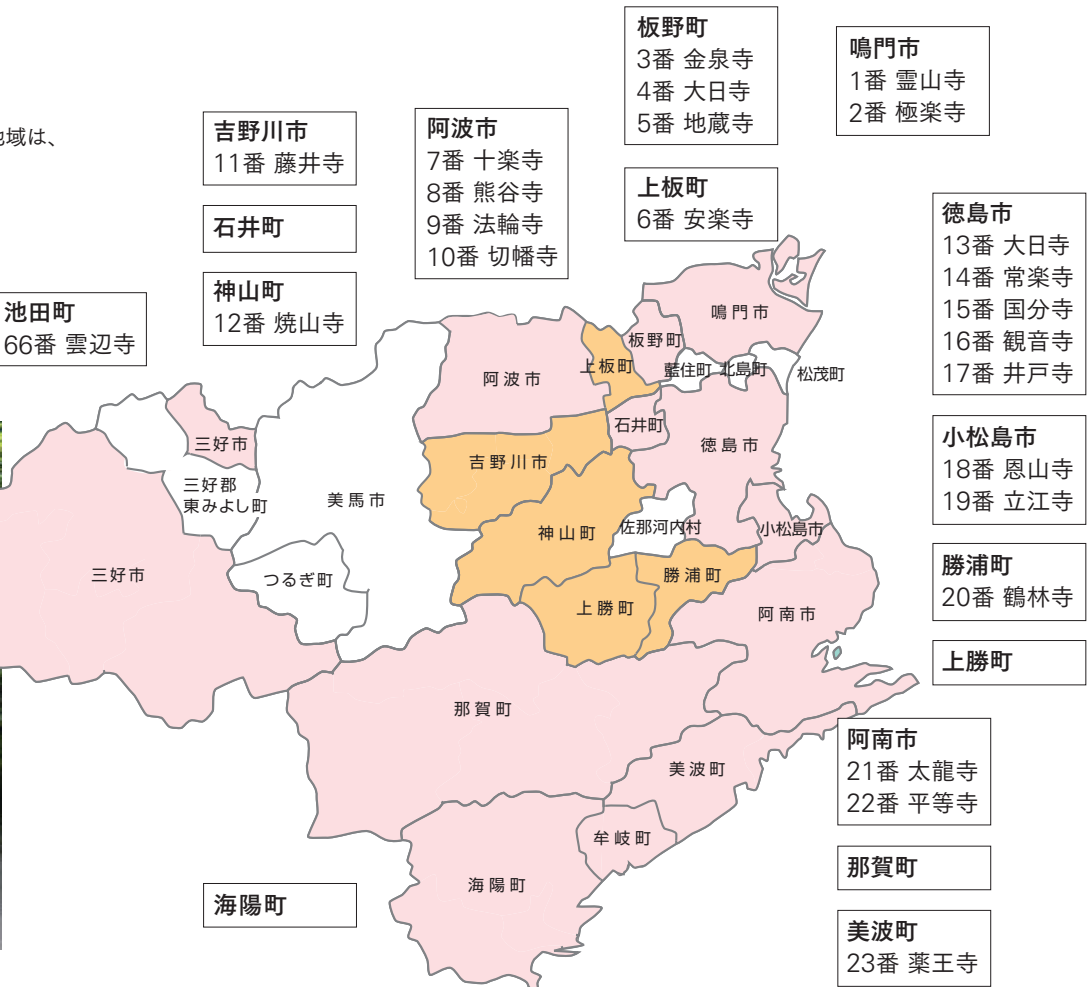
◎四国いやしのみちづくり事業の取り組みスキーム



◎四国いやしのみちづくり事業対象地域の紹介

※四国いやしのみちづくり事業の対象地域は、「へんろ道」「四国のみち」が通っている全ての地域が対象となります。

- は、登録地域
- は、対象地域



◎現在、「四国いやしのみち」に登録されている5つの地域



第1号登録／吉野川市

四国三郎をまたぐ、最後まで残った空海の道



第2号登録／神山村

衛門三郎を偲ぶ、最後まで残った空海の道



第5号登録／上勝町

穴禅定・月の宿やすらぎロード



第4号登録／勝浦町

みかん・もてなし・ふれあいロード

地域活動推進モデルの特徴

いやしのみちづくり登録5地域の活動を基に、地域活動推進モデルの特徴を紹介します。

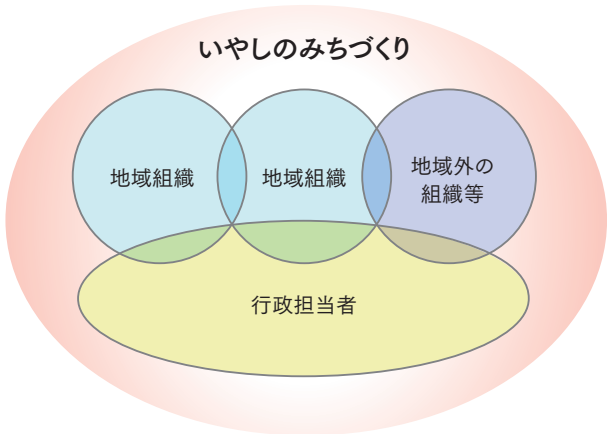
登録地域と活動の特徴キーワードを下表に示します。

登録地域	活動年度	初動期の特徴キーワード	2007年度時点の特徴キーワード
吉野川市(旧鴨島町)	2000年～2004年	個別活動プロジェクト推進	
神山町	2001年～2005年	活動連携プロジェクト推進	
上板町	2003年～	組織連携活動プロジェクト推進	組織連携活動プロジェクト推進
勝浦町	2004年～	個別活動プロジェクト推進	組織連携活動プロジェクト推進
上勝町	2006年～	組織連携活動プロジェクト推進	組織連携活動プロジェクト＋事業連携プロジェクト推進

活動連携プロジェクト推進

活動の特徴

- 市民発意により活動連携のテーマが生まれている(石積み活動など)
- 行政担当者の連絡調整により、地域組織と地域外組織等との連携活動が実施された



神山町の活動



●みんなでつくった「いやしのみち休憩所」この達成感は参加した人だけの特権です。

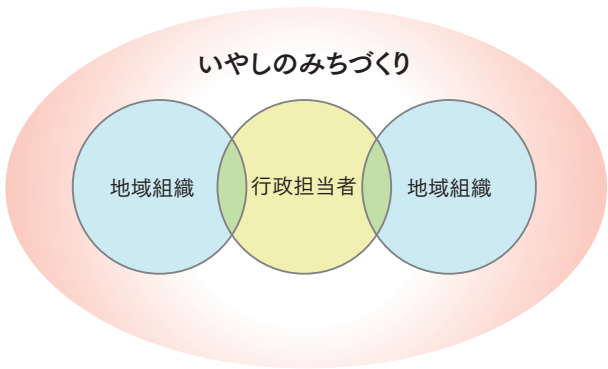


- 「神山の峠道計画」のサイン：町行政の担当者自らがデザインした手作りサインです。このほか、「神山のさくら道」など、「道計画」がつながっています。国交省の事業である「シーニックバイウェイ(風景街道)」にもつながっています。

個別活動プロジェクト推進

活動の特徴

- 個別活動プロジェクトが、行政だけでなく、市民参加により実施できた
- 活動テーマごとに役割分担されており、事業終了後も継続した活動が残っている



吉野川市(旧鴨島町)の活動



●藤井寺門前のへんろ道は国土交通省の補助事業として整備されました。



●古くなった木製ベンチはボランティアによって修理されています。

●「江川水源地いやしの舎」が設置されました。



勝浦町(活動当初)の活動



●間伐材の切り出しを行い、みんなで、ベンチづくりが行われました。

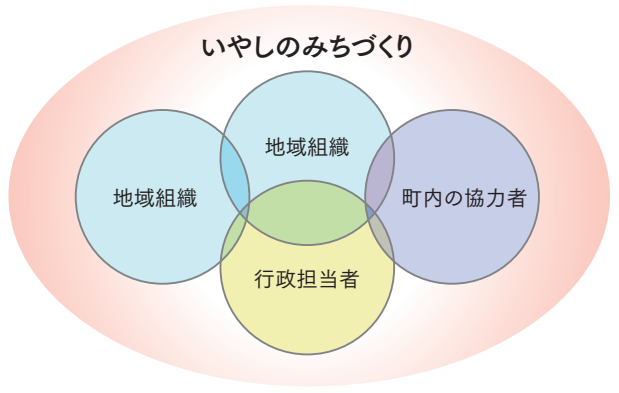


●イラスト案内板が設置されました。

組織連携活動プロジェクト推進

活動の特徴

- 地域組織が自主的に連携し、行政担当者も地域組織と関わりながら、活動テーマごとの協力体制を作っている
- 主たる調整役(キーパーソン)が、地域組織・行政の両方に存在している
- 地域組織の連携活動により、活動が町内に周知されている



上板町の活動

上板では、地域活動の団体が、いやしのみちを中心として、【ベンチ・サイン部会】【ハイキング部会】【花づくり部会】【トイレ部会】といったテーマごとの部会が誕生し、活動を展開しています。



【ベンチ・サイン部会】
メンバーによる木製ベンチは、ひとつひとつ手作りで仕上げられています。



【ハイキング部会】
メンバーにより「いやしのみちルート」のゴミ拾いが実施されています。



実行委員会【花づくり部会】では、
いやしのみち沿道を飾る花植えプランターづくりを行っています。

勝浦町(2007年度現在)の活動

勝浦では、2006年から、町内の2つの団体(ふれあいの里さかもと・星谷光流会)の連携により、いやしのみちルートを活用した「へんろ道を歩こう」が開催されています。

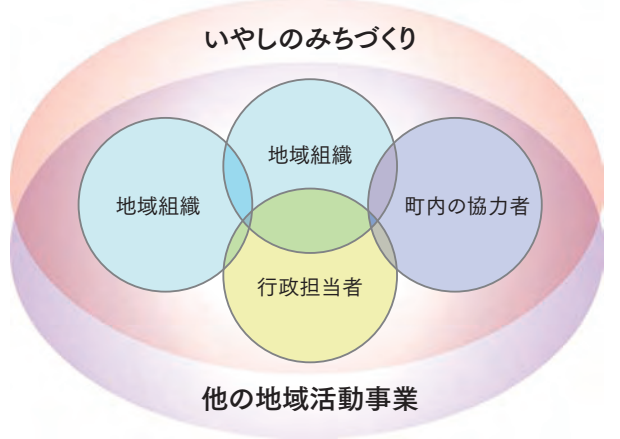


●「へんろ道を歩こう」では、参加者に、お茶や手作りグッズプレゼントなどのお接待を行っています。

組織連携活動プロジェクト+事業連携プロジェクト推進

活動の特徴

- 活動組織が自主的に連携し、行政担当者も地域組織と関わりながら、活動テーマごとの協力体制を作っている
- 主たる調整役(キーパーソン)が、地域組織・行政の両方に存在している
- 地域組織の連携活動により、活動が町内に周知されている
- いやしのみちづくり以外の地域活動事業との連携により、活動を活性化させている



上勝町の活動

上勝では、第22回国民文化祭とくしま2007をきっかけに実施した「上勝アートプロジェクト～里山の彩生～」における現代野外アート作品づくりと同時に、休憩ベンチやプランターが作られ、それらが、いやしのみちルート沿いに設置されました。
いやしのみちづくりと、上勝アートプロジェクト～里山の彩生～が連携した活動となりました。



●「福原観光協会」メンバーと地域住民が、間伐材を利用したプランターづくりを行い、
その中に、季節の花が植えられました。
これらのプランターは、国文祭のアート作品のそばに設置され、訪問者を癒してくれます。



●慈眼寺周辺の「中津賀くるま座」メンバーと、
月ヶ谷温泉周辺の「福原観光協会」メンバーの協働により、
いやしのみちルート設定が行われました。



●「中津賀くるま座」メンバーによるベンチづくりが行われました。
これらのベンチは、国文祭のアート作品のそばに設置されています。